

安曇野 レインボウ通信

ぼうざぶろう
増田望三郎の
市議活動だより

Season 3
2025年新春号 第43号



みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。安曇野市政や議会が市民にとって身近になるために、虹（= Rainbow レインボウ）の架け橋となるような議員活動をしていきます。望三郎の活動はブログやフェイスブック、インスタでもどうぞ。



●プロフィール
大分県出身 55 歳。東京経由で安曇野に移住し 21 年目に。三郷小倉に妻、妻の両親と暮らす。自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿（ちきゅうやど）』を経営。安曇野市議 3 期目。好きな言葉は『出会い、共感、展開』

巻頭言 市民のみなさんの声を聴く

議員になって 12 年目。年 4 回の定例会が終わった後に毎回、議会報告と私の議員活動報告の場を作り続けています。市民のみなさんにとって市政や議員・議会を身近なものにしたいという思いでやり続けている会で、名称を当初の「議員活動報告会」から、少しでも馴染みやすい名前にしようと「まちづくりカフェトーク」と名付けたり、他の議員との合同開催にして変化をつけたり、背広を脱いだ普段着でカジュアルな場にしたりと、試行錯誤しながら場を作り続けてきました。



対話を通じて市政課題を得る

ここ数回は「望三郎議員とのおしゃべり会」ということで、議員は私一人なのですが、この場がとても有意義な場になっています。市民 10 数名の方たちが参加されて、それぞれ

が市政への課題や提案を意見してくれます。テーマはヘルスツーリズム、地下水の保全、子どもたちの居場所、駅前のホテル建設など多岐にわたります。中には全く知らなかった課題を認識することもあります。また、様々な課題を私一人が聞いて、私だけが考えを述べるというのではなく、集まった他の皆さんも一緒に考え、意見交換し合っていく場になり、より深い考察ができています。日を改めてより突っ込んだ作戦会議を立てる課題もあり、それを議会質問へとつなげています。この場はしっかりと市民の皆さんと対話ができている手応えがあります。一人の議員として市民と向き合っていくこと。これがやはり議員の原点だと感じています。こういった場をこれからも作り続けていきます。次回の望三郎議員とのおしゃべり会は、

日時：2月9日（日）午後2時～4時
場所：蔵のカフェレストラン清雅
（豊科 3550-1）
※参加者は飲み物をご注文ください。
参加議員は望三郎だけです。

市政の様々な課題や市民のみなさんが関心あるテーマについて、望三郎議員の考えを聴いてみたい、自分の考えも聞いてもらいたいという方、どうぞご参加ください。

12月定例会トピック

以下を含んだ補正予算案に賛成しました。

- 18歳未満の子どもの医療費完全無料化
これまでは受診時に月毎に出されるレセプト（診療報酬明細書）500円を窓口で払わなければなりませんでしたが、これが無しとなり完全無料化されます。2025年4月からの改定です。
- 高校・大学等の入学準備金の貸付要件緩和
要件が緩和され、生計を一にする者の所得の合計額800万円までの世帯（子ども1人の場合）が対象となりました。2人以上の場合は所得合計額も増えます。（詳細は市のホームページ参照）申し込みの締めは3月25日です。
- 古民家等々力家の再生・活用
穂高にある江戸時代中期に建てられた市有形文化財の等々力家。年度内に民間事業者による事業提案をしてもらい、観光施設として活用していきます。穂高駅から大王わさび農場までの道筋の途中にあり、安曇野観光の新たな魅力・拠点になることを期待します。



サポーターからの応援メッセージ ④



大浜 崇さん（三郷／どあい冒険くらぶ主宰）
望三郎はいくつもの顔を持っています。私の一番の馴染みはゲストハウス地球宿の望さんです。ここで日本内外の旅人を受け入れ、様々なイベントをしてきました。白眉は「ドリカム新年会」。老若男女が集まり、各々自分の夢を語り、他の参加者からアドバイスや情報、励ましの言葉をもらうこの企画。これを契機に夢を叶えた人をたくさん知っています。いくつになっても夢を持っていい。夢を語る人であってほしい。夢を実現してほしい…。そんな夢と人生の応援を続け、自身も一つずつ夢を叶えていった望さんが『みんな幸せになってほしい。大好きな安曇野がもっと住みよい街になってほしい』と、市議会議員になったのは当然の流れだと思います。「議員になったら〇〇します」でなく、「〇〇がしたいから議員になる」。きちんとビジョンを持って立った男。市民の立場でできることをやり、議員としてできることをやり、決して議員という立場にアグラをかかない。だからこそ私は彼を信頼しています。彼の周りには今日も人が集まり、夢を語り、悩みを打ち明け、解決へと向かっていくことでしょう。そんな姿を見る子どもたちに、「人生って捨てたもんじゃない。いろいろできる大人になりたい。」という希望を背中語りながら。

12月定例会の一般質問

【質問1 公教育改革、待ったなし!】

望市議 最新 2023 年度の不登校児童生徒数、安曇野市は前年度比 25% 増で、全国平均や県平均より高い。公教育改革は待ったなしだ。県は 2027 年度には県内半数以上の小中学校で、個別最適な学びの本格導入を目指すとし、来年度からのモデル校「ウェルビーイング実践校*」を県内自治体に募集した。本市はなぜ応募したのか。

教育長 市内全小中学校のどこが手を挙げて、市が掲げる目標に向かって、共通の意識を持って特色ある取組を展開している。最終的には明科中、明北小、明南小の3校が「限りない探究心を、園から小・中、さらに高へ!」という目標を掲げ応募した。チャレンジと探求でふるさと明科を心に刻む明科教育に取り組む意気込みを示してくれた。

望市議 ウェルビーイング実践校は学校の仕組み変革をやるようとしている。チャレンジしてほしいことは。

教育長 これまでの当たり前を見直すという県の考え方には賛同するが、大胆な改革と言われると、逆に縛られてしまうことも懸念する。明科中では制服について子供たちと一緒に考えてきている。子供たちは意見が言えて、自分たちの考えを取り入れた居心地のよい学校生活ができるという実践をし始めている。その芽を大切に、先生たちと子供たちが一緒になっての取り組みを期待する。

質問を終えて…子どもたち一人一人の個別最適な学びという理念を実現するには、もう一歩踏み込んで、そのチャレンジをしたい先生を募集してみたいという提案もしました。併せて日々の業務で精いっぱい先生たちの働き方改革も不可欠です。明科の3つの小・中

学校のチャレンジを心から応援します。

※ウェルビーイング実践校…長野県教育委員会が推進する、一人ひとりの子どもの特性に合わせた学びの環境を整えるモデル校。安曇野市では明科中、明南小、明北小が応募し、指定された。ウェルビーイング (well-being) とは、身体的、精神的、社会的、すべてが満たされた状態をいう概念。

【質問2 穂高駅前のホテル建設計画】

望市議 穂高駅前のホテル建設計画は開発区域や面積、高さなど、法や土地利用や景観の条例に準拠しているのか。

部長 計画敷地面積 5,788.19 平米、建物は鉄筋コンクリート造7階建てで、屋外広告物を含む最大高さは 28.03 メートルの計画。都市計画法及び市の土地利用条例、景観条例を含め、関係法令等に適合している。

望市議 看板部分も含め高さ 28 m に及ぶ高層建築物を建てるので、地下の基盤も相当の深さまで掘ると思われる。地下水への影響は。

部長 河川が開発対象外のため、影響はほぼないと考えている。

望市議 市長は周辺住民や農業者の不安をどう受け止めるのか。

市長 開発事業者は市民等に対して丁寧に説明を行い、理解を得ていただきたい。

【質問3 自然保育ブランド化/園庭芝生化】

望市議 安曇野の自然保育のブランド推進をミッションにした地域おこし協力隊が任期を終えた。隊員の活動の成果は。

教育長 安曇野自然保育のブランディングという前例のない斬新な発想で先駆的に取り組み、市の自然保育を市内外に発信し、多くの方々に興味を持っていただいたのは大きな成果だ。保護者にも自然保育に対する認知が広がる相乗効果があった。

望市議 今後ブランド化をどのように進め、

アピールしていくのか。

市長 子育て世代の移住が多いのは、自然保育の推進、魅力の発信による効果が大きな要因だった。今後も地域と結びついた安曇野らしい自然保育の取組を続け、市内外に向け発信・アピールする。

望市議 園庭芝生化のメリットは承知している。市は全園を芝生化する方針だが、園によっては木を植えて木立を作ったり、泥水遊びや火を使った焼き芋をしたりなど、園庭での企画を進めている園もある。各園の取組や保護者の意向も考慮して進めていくべきでは。

教育長 園のそれぞれが置かれた施設環境、教育・保育の方針、園の特色等も踏まえ、要望等もよく聞いて対応していく。

憲法講座『檻の中のライオン』

「檻（おり）の中のライオン」というテーマで弁護士椋大樹（はんどうたいき）さんの話を聞きました。ライオンとは国家権力、檻とは憲法のこと。国民はルール作りやルールに則った仕組みの運営を政府や国（ライオン）に任せており、ライオンは国民一人ひとりが尊重される社会をつくる役割を担っています。国民は檻の中のライオンが作るルールに従って生活し、その代わりにライオンには檻の中にいてもらうという関係です。この檻をライオンが破ろうとしていないか、我々国民が注意・監視しなければなりません。



椋さんと檻の中のライオンTシャツ

望三郎市議が行く!

第43話

『中学生キャリアフェスティバル』

出演 ☆ 望市議 にじと・ピース

穂高会館アリーナ

わ~たくさんのブースがいっぱい!

今日は中学生キャリアフェスティバルをやるんだよ

市内の企業や団体、個人事業主が中学生に仕事の魅力を紹介するキャリア教育のイベントなんだ

日赤 キョーザミュージシャン ドローン会社

生徒は働く大人たちの姿や考えに触れて生き方や働く意味を考える機会になったよ

市教委のナイスチャレンジ!

僕も参加したいなあ

← 現在 6 年生